

Title	中小企業における事業転換の成功条件に関する研究
Sub Title	
Author	梶本文喜(Kajimoto, Takeki) 小林規威
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1982
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0195

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

梶本 丈喜

主査 小林 規威

(梶本機械工業株式会社)

副査 柳原 一夫

所属ゼミナール 小野 桂之介 研

小野 桂之介

中小企業における事業転換の成功条件に関する研究

最近における中小企業を取り巻く経営環境の変化は著しく、新たな情勢への対応が迫られている。このような環境変化の下で従来の事業の転換を試る事によって経営の安定と発展を図ろうとする中小企業は多いが、その中には、転換に失敗し危機に陥る例も少なくない。本研究はこうした中小企業の事業転換を成功に導く為の主要条件をできるだけ具体的に明らかにする事を目的とする。この研究目的の達成の為、第2章では、各種の調査資料を基に事業転換の成功に関する仮説の構築及び諸原則の設定を試みた。第3章では実態調査を通じて仮説の検証と、各企業の事業転換に対する取り組み方を可能な限り浮き彫りにした。その結果、第4章では、実態調査結果概要として事業転換成功の諸条件を述べたが、集約すれば、①進出先市場の的確な選定（既存の経営資源の有効活用も含む） ②企業体力の余力ある内の転換 ③事前・事後努力の傾注（各種計画の立案及び情報収集、経営ノウハウの吸収、取引先関係の充実、社内協力体制の充実） ④的確なタイミングでの市場参入、以上4点が主な転換成功条件となる事を明らかにする事ができた。尚、以上4つの基本条件の実施方策およびその他の具体的方策についても、研究調査過程でいろいろ示唆に富んだ行動例を抽出する事ができた。